

教科名：  
「高位平準動物看護学」

# 自律学習理解度確認課題

※ 10 問中 2 問にご解答ください。

氏名：

公衆衛生学

科名：公衆衛生学

問題1	公衆衛生の目的とはなにか、説明してください。
解答1	
問題2	動物看護における公衆衛生の目的とは何か、説明してください。
解答2	
問題3	人獣共通感染症とは何か、説明してください。
解答3	
問題4	人獣共通感染症の代表的な「狂犬病」について、簡潔に説明してください。
解答4	
問題5	人獣共通感染症の予防について、説明してください。
解答5	
問題6	新興感染症と再興感染症について説明してください。
解答6	
問題7	消毒と滅菌の違いについて説明し、各々の代表的な方法について説明してください。
解答7	
問題8	動物検疫の目的について説明してください。
解答8	
問題9	動物検疫の役割について説明してください。
解答9	
問題10	日本での人獣共通感染症の発生が他国に比較して少ない理由を説明してください。
解答10	


教科名：  
「高位平準動物看護学」

## 自律学習理解度確認課題（模範解答）

氏名：

公衆衛生学

科名：公衆衛生学

<b>問題1</b>	<b>公衆衛生の目的とはなにか、説明してください。</b>
<b>解答1</b>	公衆衛生とは国民の健康を肉体的、精神的、社会的に良好に保全することを目的とする。社会生活を営む上で精神的及び肉体的に健康な生活を保持および増進し、様々な疾病の予防策を講じることがある。
<b>問題2</b>	<b>動物看護における公衆衛生の目的とは何か、説明してください。</b>
<b>解答2</b>	①動物を衛生的に管理し、動物の健康の維持、増進を図る。 ②動物の病気を予防し、病気の早期発見、早期治療につなげる。 ③ヒトと動物の共存社会において、よき関係であるために正しい衛生指導ができる。
<b>問題3</b>	<b>人獣共通感染症とは何か、説明してください。</b>
<b>解答3</b>	人獣共通感染症とはズーノーシスともいい、ヒトの健康問題の視点から動物由来感染症ともいう。人獣共通感染症は自然な状況下でヒトと脊椎動物間で伝搬する疾患あるいは感染症とWHO（世界保健機関）で提議されている。人獣共通感染症は病原体が生態系においてどのように維持されているのかで4種類に分類される。
<b>問題4</b>	<b>人獣共通感染症の代表的な「狂犬病」について、簡潔に説明してください。</b>
<b>解答4</b>	狂犬病ウイルスが唾液に入り、哺乳類全般に感染する。感染経路は公傷感染。現在の日本では1957年以降、感染報告はなく、犬、猫、アライグマ、きつね、スカンクは検疫対象動物に指定されている。症状は興奮状態、情緒不安定となり咬みつく。恐水症となり100%死亡する。世界中で発生報告あり、近年発生していない国として日本、オーストラリア、ニュージーランド、ハワイ、ノルウェイなど。生後91日齢の犬には毎年予防接種を実施する。海外では放浪動物に気を付ける。
<b>問題5</b>	<b>人獣共通感染症の予防について、説明してください。</b>
<b>解答5</b>	1：感染源に対する対策⇒①衛生的な飼育管理 ②衛生的なエサと水 ③野生動物との接触に注意 2：感染経路に対する対策⇒直接感染に関する対策 ②関節感染に関する対策 3：感染を受けやすい人々への対策⇒①易感染性宿主とハイリスク集団 ②日和見感染 ③易感染性宿主とペットの飼育 などについて対策する。
<b>問題6</b>	<b>新興感染症と再興感染症について説明してください。</b>
<b>解答6</b>	これまで知られていなかった新たな感染症を新興感染症（例：エボラ出血熱、BSE、エイズ）といい、制圧すると考えられていたにも関わらず再び流行する感染症を再興感染症（例：狂犬病、結核、コレラ）という。感染力が強く、重症化する傾向にある多くの感染症が多い。
<b>問題7</b>	<b>消毒と滅菌の違いについて説明し、各々の代表的な方法について説明してください。</b>
<b>解答7</b>	①消毒⇒病原性のある微生物を対象に死滅させる方法。日常的に多くの場所で行われる。 ②滅菌：すべての微生物を死滅させる方法。外科手術の器具など。1）物理的方法 ①熱による消毒と滅菌⇒煮沸消毒、高圧蒸気滅菌 ②紫外線による滅菌 ③放射線 2）化学的方法 ①エチレンオキシサイトガス ②消毒薬⇒アルコール類、次亜塩素酸ナトリウム、ポビドンヨード、塩化ベンザルコニウム、グルコン酸クロルヘキシジン 消毒薬を使用する際の注意点は、①消毒薬は糞、尿、吐物などがあると効果が弱くなる。 ②使用説明書をよく読み、使用目的にあった用法、適正な希釈濃度を守ること。 ③できるだけ新しくつくった消毒液を使用すること。
<b>問題8</b>	<b>動物検疫の目的について説明してください。</b>
<b>解答8</b>	動物検疫は動物の病気の侵入を防止するため、世界各国で行われている。目的は①外国から輸入される動物・畜産物などを介して家畜の伝染性疾病が国内に侵入することを防止する。 ②輸出の際に外国に家畜の伝染性疾病を広げることが防止する。 ③輸出入する動物から伝染性疾病をヒトが伝染されないように防止する。
<b>問題9</b>	<b>動物検疫の役割について説明してください。</b>
<b>解答9</b>	①ペットの輸出検疫⇒海外に犬および猫を連れていく際には短期間であっても輸出入検疫をうけねばならない。必要な届出：マイクロチップなどの個体識別。装着後の2回以上の狂犬病予防注射。2回目接種後に採血した血液で測定した狂犬病抗体価の証明書添付。 ②輸入禁止動物⇒学術研究かたは動物園展示目的以外にすべての地域からサルの輸出禁止。ペストの発生を考慮してハクビシン、イタチアナグマ、タヌキの輸入禁止。ニパウイルス感染症、リッサウイルス感染症、狂犬病の発生を考慮してコウモリの輸入禁止。リッサ熱を考慮してマストミスの輸入を禁止。
<b>問題10</b>	<b>日本での人獣共通感染症の発生が他国に比較して少ない理由を説明してください。</b>
<b>解答10</b>	①地理的要因⇒日本は温帯のため、熱帯・亜熱帯地域に多い感染症が少ない。 島国であるため、周囲からの感染源動物の侵入が限られている。 ②家畜衛生対策等の徹底⇒家畜衛生対策、狂犬病対策を徹底させた結果、日本では根絶した感染症がある(例：狂犬病) ③衛生観念の強い国民性⇒日本人は手洗いの励行、収穫したコメを守るためにネズミ駆除対策をとってきた。